

内閣本府

平成27年行政事業レビュー事業単位整理表兼点検結果の平成28年度予算概算要求への反映状況調査

(単位:百万円)

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成26年度補正後予算額	平成26年度		外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見			平成27年度当初予算額 A	平成28年度要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考	担当部局	会計区分	項・事項	平成26年レビューシート番号	外部有識者チェック対象(公開プロセス含む)※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金	
					執行可能額	執行額		評価結果	所見の概要	反映額				反映内容											
施策名: 1 公文書管理制度の適正かつ円滑な運用 (政策1-施策①)																									
0001	公文書管理推進経費	平成24年度	-	2	2	1	-	現状通り	引き続き、事業全体の改善や効率化を検討し、概算要求に適切に反映させること。	2	2	0	-	現状通り	適正な予算の執行に努める。		大臣官房	一般会計	(項) 公文書等管理政策費 (大事項) 公文書等管理政策に必要な経費	0001					
0002	国立公文書館の機能・施設の在り方等に関する調査検討経費	平成20年度	-	47	47	36	-	現状通り	今後の関係施策の推進に資するよう、引き続き事業の成果について適切に検証すべき。	50	114	64	-	現状通り	引き続き適正な予算の執行、事業成果の検証に努める。		"	"	"	0002			○		
施策名: 2 重要施策に関する広報 (政策2-施策①)																									
0003	放送諸費	昭和24年度	-	505	505	262	-	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。	505	596	91	-	現状通り	引き続き、実施した広報の効果等の分析を踏まえつつ、PDCAサイクルの実施を基本に据え、効果的・効果的な広報を実施に努める。		大臣官房	一般会計	(項) 政府広報費 (大事項) 政府広報の実施に必要な経費	0003					
0004	出版諸費	昭和24年度	-	2,183	2,183	2,801	-	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。特に予算の範囲内に収まるよう事業の実施について検討し効率化に努めること。	2,172	2,180	8	-	現状通り	引き続き、実施した広報の効果等の分析を踏まえつつ、PDCAサイクルの実施を基本に据え、効果的・効果的な広報を実施に努める。特に、予算の範囲内に極力収まるよう努める。		"	"	"	0004					
0005	対外広報諸費	昭和24年度	-	294	294	291	-	現状通り	重要事項に関する戦略的国際広報諸費に統合後も、引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。	-	-	-	-	現状通り	実施した広報について分析を行い、PDCAサイクルの実施を基本に据え、引き続き効果的・効果的な広報に努める。		"	"	"	0005					
0006	事業諸費	昭和24年度	-	1,730	1,730	1,360	-	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。	1,743	3,346	1,603	-	現状通り	引き続き、効果的・効果的な広報を実施する。また、実施した広報の効果等の分析を踏まえつつ、必要な広報を効果的に実施する経費を概算要求に反映させている。		"	"	"	0006					
0007	政府広報ホームページ事業諸費	平成14年度	-	114	114	105	-	現状通り	引き続き、国民に分かりやすい情報の発信に努めること。また、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。	114	114	▲0	-	現状通り	引き続き国民に対し分かりやすい情報の発信に努め、効果的・効果的な広報に努める。		"	"	"	0006					
0008	戦略的広報経費(国内)	平成25年度	平成26年度	1,901	1,901	1,018	-	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。	-	-	-	-	現状通り	引き続き、効果的・効果的な広報を実施する。	26年度1次補正予算1,900.916百万円	"	"	"	-	平成26年対象				
施策名: 3 国際広報の強化 (政策2-施策②)																									
0009	戦略的広報経費(国際)	平成25年度	平成26年度	601	1,132	508	-	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。	-	-	-	-	現状通り	TVCMの予算については、平成26当初予算にも要求しているが、平成26年度補正予算においては、特に地域の多様で力強い経済活動等の国際広報の実施のため、追加的に予算を要求した。今後ともその時々重要な広報課題に応じてタイミングよく効果的に国際広報を行っていくこととする。	26年度1次補正予算600.632百万円	"	一般会計	(項) 政府広報費 (大事項) 政府広報の実施に必要な経費	-	平成26年対象				
0010	重要事項に関する戦略的国際広報諸費	平成25年度	平成27年度	1,509	1,509	1,483	-	現状通り	戦略的国際広報活動の政策効果の測定は非常に困難であるのではないかと考えられるが、「成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか」との設問に対して、「効果測定も行いながら」と記載されており、また、「PDCAのための効果検証の更なる強化」というようにも記載されている。今後の体系的な説明のあり方について期待する。	3,603	5,218	1,615	-	現状通り	事業者の選定に当たっては、競争性を確保し、妥当なコストの水準を確保することを前提として、創意工夫が発揮できる企画競争を活用し調達する。その際、企画競争の評価項目には経費の妥当性の確保を加入、競争性を確保しつつ、経費の効率化に努める。事業の実施に当たっては、関係省庁と連携しつつ、効果的・効果的な広報を目指す。また、個々の広報の実施後に効果測定を行い、改善点を明確にし、次の広報に役立てるPDCAサイクルを確立し、継続的な改善に努める。		"	"	"	-	前年度新規				
施策名: 4 世論の調査 (政策2-施策③)																									
0011	世論調査諸費	昭和22年度	-	160	160	152	-	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。	160	161	1	-	現状通り	引き続き、実施した世論調査結果の活用状況を把握しつつ、PDCAサイクルの実施を基本に据え、予算の効率的な執行に努めることとする。		大臣官房	一般会計	(項) 政府広報費 (大事項) 政府広報の実施に必要な経費	0008	平成26年対象				
施策名: 5 化学兵器禁止条約に基づく遺棄化学兵器の廃棄処理 (政策3-施策①)																									
0012	遺棄化学兵器廃棄処理事業担当室経費	平成11年度	-	245	245	212	-	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。	257	260	3	-	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。		大臣官房	一般会計	(項) 遺棄化学兵器廃棄処理事業費 (大事項) 遺棄化学兵器廃棄処理事業に必要な経費	0009					
0013	遺棄化学兵器廃棄処理事業経費	平成11年度	-	26,443	32,123	25,977	-	現状通り	引き続き、事業の進捗状況等の把握に努め、必要であれば事業計画を見直し、経費の促進等を精査・確認の上、効果的・効率的な事業の実施に努めること。	31,177	34,313	3,136	-	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。		"	"	"	0010			○		
施策名: 6 政府調達に係る苦情処理とその周知・広報 (政策4-施策①)																									
0014	政府調達苦情処理の推進に必要な経費	平成8年	-	3	3	2	-	現状通り	本経費は、苦情申立てがなされた場合を想定し、その際に最低限必要となる予算額を確保する必要がある。なお、周知・広報については、引き続き積極的にやっていく必要がある。	3	3	0	-	現状通り	関係省庁が主催する政府調達セミナーやパンフレットの配布等を通じた周知・広報活動を引き続き積極的に行っていく。		政策統括官(経済財政運営担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費 (大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要な経費	0016					
施策名: 7 対日直接投資の推進 (政策4-施策②)																									
0015	対日直接投資の促進に必要な経費	平成18年	-	9	9	3	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	12	12	▲0	-	現状通り	所見を踏まえ、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意する。		政策統括官(経済財政運営担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費 (大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要な経費	0017	平成25年対象				
施策名: 8 道州制特区の推進 (政策4-施策③)																									
0016	道州制特区の推進に必要な経費	平成18年	-	1	1	0	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	1	1	▲0	0	縮減	執行実績を踏まえ、必要な経費を精査し、要求額へ反映させた。		政策統括官(経済財政運営担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費 (大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要な経費	0019					
施策名: 9 民間資金等活用事業の推進 (PFI基本方針含む) (政策4-施策④)																									
0017	民間資金等活用事業調査等に必要な経費	平成13年	-	98	98	65	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	140	247	107	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努める。	新しい日本のための優先課題推進枠207百万円	政策統括官(経済社会システム担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費 (大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要な経費	0020, 0021	平成26年対象	○			

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成26年度補正後予算額	平成26年度		外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		平成27年度当初予算額 A	平成28年度要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考	担当部署	会計区分	項・事項	平成26年度レビューシート番号	外部有識者チェック対象(公開プロセス含む)※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金	
					執行可能額	執行額		評価結果	所見の概要				反映額	反映内容										
施策名: 1 0 競争の導入による公共サービスの改革の推進(公共サービス改革基本方針含む)(政策4-施策5)																								
0018	競争の導入による公共サービスの改革の推進に必要な経費	平成18年	-	20	20	15	事業Aの内容によっては、これを民間業者に委託する必要があるが、問題となりうるように思われる。すなわち、内閣府から厚労省に照会すれば、実体が把握できる事業であるようにも思われ、この確認手続を、別途、Aとして事業化された趣旨が確認されるべきではないかと思われる。事業Bについても、同様の調査は、総務省等で行われてきたように推測され、これを事業化したことについては、Aと同様の確認が必要であろう。	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。なお、外部有識者の所見を踏まえ、他省庁等における関連事業について整理し、当該事業の効率性や有効性を確認の上、今後、事業の進め方について検討していくべき。	18	18	0	-	執行等改善	今後とも、事業内容の適切な進捗管理を行い、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に努める。また、御指摘の2事業については、いずれも同様の目的で実施された事業がないことを確認したうえで実施しており、引き続き必要な事業の概算要求を行う。		政策統括官(経済社会システム担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要な経費	0022	その他	○		
施策名: 1 1 市民活動の促進(政策4-施策6)																								
0019	市民活動の促進に必要な経費	平成10年	-	130	130	113		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	131	186	55	-	現状通り	所見を踏まえ、引き続き、事業の適切な進捗管理や予算の効率的執行等に留意しながら、NPOホームページの適宜改修による情報発信の強化や、法制度の円滑な運用・周知を図る。		政策統括官(経済社会システム担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要な経費	0023	平成26年対象	○		
施策名: 1 2 NPO等の運営力強化を通じた復興・被災者支援の推進(政策4-施策7)																								
施策名: 1 3 国内の経済動向の分析(政策4-施策8)																								
0020	国内の経済動向調査等に必要な経費	平成12年	-	48	48	48		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	86	82	▲3	-	現状通り	今後とも、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努める。		政策統括官(経済財政分析担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要な経費	0024	平成26年対象			
施策名: 1 4 国内の経済動向に係る産業及び地域経済の分析(政策4-施策9)																								
0021	国内の経済動向に係る産業及び地域経済の調査等に必要な経費	平成12年	-	126	126	119		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	141	184	43	-	現状通り	今後とも、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努める。		政策統括官(経済財政分析担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要な経費	0025	平成25年対象			
施策名: 1 5 海外の経済動向の分析(政策4-施策10)																								
0022	海外の経済動向調査等に必要な経費	平成12年	-	35	35	33		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	36	47	11	-	現状通り	今後とも、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努める。		政策統括官(経済財政分析担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要な経費	0026				
施策名: 1 6 国家戦略特区の推進(政策5-施策1)																								
0023	国家戦略特区の推進に必要な経費	平成26年	-	178	178	7	資金の流れを見ると700万円を委託調査をしているだけである。内容は経済波及効果の把握、成果の評価である。H26年度からの事業で、何をどこまで把握、評価できるのか、疑問が残る。	事業内容の一部改善	事業の有効性・効果について検証し、適切に事業内容を見直しとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	271	381	110	8	縮減	国家戦略特区の区域指定から1年が経過しており、経済波及効果の把握及び成果の評価等を適切に実施し、POCAサイクルを構築することで、特区の取組を推進していく。効率的・効果的に国家戦略特区の推進を図り、適正な予算執行に努める。なお、利子補給金については執行実績等を踏まえ、減額要求を行うとともに、国家戦略特区の加速的推進を図るために必要な経費を要求した。		地方創生推進室	一般会計	(項) 地域活性化政策費(大事項) 地域活性化政策の推進に必要な経費	新26-0002	前年度新規	○	○	
施策名: 1 7 中心市街地活性化基本計画の認定(政策5-施策2)																								
0024	中心市街地活性化の推進に必要な経費	平成19年	-	12	12	3		事業内容の一部改善	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、不用率が高い執行実績を踏まえ、適切な概算要求となるよう改善すべき。	11	10	▲1	2	縮減	効率的な予算の業務執行に努めるとともに、これまでの執行実績を踏まえ、減額要求を行った。		地方創生推進室	一般会計	(項) 地域活性化政策費(大事項) 地域活性化政策の推進に必要な経費	0027			○	
施策名: 1 8 構造改革特区計画の認定(政策5-施策3)																								
0025	構造改革特別区域計画の認定等に必要な経費	平成14年	-	25	25	23		現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	25	14	▲11	-	現状通り	事業の有効性・効果の検証結果を踏まえ、今後とも本制度が有効に活用されるよう、周知等、利用促進に取り組みるとともに、引き続き、予算の効率的な執行に努める。		地方創生推進室	一般会計	(項) 地域活性化政策費(大事項) 地域活性化政策の推進に必要な経費	0028				
施策名: 1 9 地域再生計画の認定等(政策5-施策4)																								
0026	地域再生計画の認定等に必要な経費	平成17年	-	5,028	28	24		現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	7,076	49	▲7,027	-	現状通り	今後とも本制度が有効に活用されるよう、周知等、利用促進に取り組みるとともに、引き続き、予算の効率的な執行に努める。		地方創生推進室	一般会計	(項) 地域活性化政策費(大事項) 地域活性化政策の推進に必要な経費	0029			○	○
施策名: 2 0 地域再生基盤強化交付金の配分計画の策定(政策5-施策5)																								
0027	地域再生の推進のための施設整備に必要な経費	平成17年	-	45,118	59,484	58,084	地方公共団体から見れば、ある種「ありがたい」事業であらう。ただし、パラマキの視点がつかずまともな事業でもある。したがって、この事業そのものに、どれだけメリットがあるのか(あったのか)、地方の立場から検証してみる必要があると考える。	現状通り	交付金事業の効果測定や検証を行い、適切な交付金活用のためのフォローアップに努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	43,068	-	-	-	現状通り	引き続き交付金事業の効果測定や検証を行うとともに、地方公共団体に対し必要なフォローアップを行う。		地方創生推進室	一般会計	(項) 地域再生推進費(大事項) 地域再生の推進のための施設整備に必要な経費	0030	行革推進会議		○	
施策名: 2 1 地域再生支援利子補給金の支給(政策5-施策6)																								
0028	地域再生の推進のための利子補給金の支給に必要な経費	平成20年	-	250	250	203		現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、進捗状況の把握に努め、実施に即した適正な予算となるよう留意すべき。	268	279	11	-	現状通り	事業の進捗状況を把握し、実施に即して積算した。		地方創生推進室	一般会計	(項) 地域活性化政策費(大事項) 地域活性化政策の推進に必要な経費	0031				○
施策名: 2 2 総合特区の推進(政策5-施策7)																								
0029	総合特区計画に基づく支援措置等に必要な経費	平成23年	-	472	472	309		現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、進捗状況の把握に努め、実施に即した適正な予算となるよう留意すべき。	613	1,698	1,085	-	執行等改善	引き続き外部有識者による評価・調査検討会で事業の進捗状況等を評価し、総合特区において実施する事業及び総合特区計画に適切に反映する。利子補給金については、平成27年度までに締結した契約や平成26年度の新たな契約見込みを勘案した要求額とする。また、地域活性化政策等に即した適切かつ効果的な支援のための総合特区推進事業費補助金について、所要額を要求した。		地方創生推進室	一般会計	(項) 地域活性化政策費(大事項) 地域活性化政策の推進に必要な経費	0033			○	○

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成26年度補正後予算額	平成26年度		外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		平成27年度当初予算額 A	平成28年度要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考	担当部局	会計区分	項・事項	平成26年レビューシート番号	外部有識者チェック対象(公開プロセス含む)※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金				
					執行可能額	執行額		評価結果	所見の概要				反映額	反映内容													
0030	総合特区の推進調整に必要な経費	平成23年	-	9,500	9,405	4,494	先編のかつ高度に専門的な研究支援の色彩が強くなっているため、行政事業レビューの項ではアプローチが難しい。ただし、政策的には重要な分野であることは理解できるので、研究成果がどのように「産業の国際競争力強化」と「地域の活性化」の目標に結びつくのか、総合的レビューをする必要があると考える。	現状通り	調整費事業の効果測定や検証を行い、適切な調整費用のためのフォローアップに努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	5,000	4,000	▲1,000	1,000	縮減	所見を踏まえ、適切な調整費用のためのフォローアップに努めた。また、執行実績等を踏まえ予算要求を行った。			(項) 総合特区推進調整費 (大事項) 総合特区の推進調整に必要な経費	0034	行革推進会議							
施策名: 2.3 「環境未来都市」構想の推進 (政策5-施策⑧)																											
0031	環境未来都市の推進に必要な経費	平成23年	-	80	80	53		現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	77	91	14	-	現状通り	本事業は各環境未来都市の取組の実現を第一の目的としていることから、それぞれの都市の取組の進捗状況を踏まえ、取組の遅れている都市については重点的に支援を行っていく。なお、概算要求については、事業の進捗を踏まえた要求額とした。		地方創生推進室	一般会計	(項) 地域活性化政策費 (大事項) 地域活性化政策の推進に必要な経費	0035							
施策名: 2.4 都市再生安全確保計画の策定の促進 (政策5-施策⑨)																											
0032	都市再生安全確保計画の策定の促進に必要な経費	平成25年	-	91	91	8		現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	45	45	0	-	現状通り	本事業により補助を受けた地域はいずれも都市再生安全確保計画を策定済み又は策定中であり、有効性・効果が高い。また、今後の執行見込を踏まえた要求額を行った。		地方創生推進室	一般会計	(項) 地域活性化政策費 (大事項) 地域活性化政策の推進に必要な経費	0036	平成26年対象						
施策名: 2.5 プロフェッショナル人材事業 (政策5-施策⑩)																											
0033	プロフェッショナル人材事業に必要な経費	平成26年	平成27年	1,511	-	-		事業内容の一部改善	平成26年度補正予算の事業だが、地域事情を踏まえて効果的に事業が実施されているか適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努めるべき。	-	-	-	-	執行等改善	現時点では想定されぬ課題や問題点等については、今後、事業を展開していく中で改善していきたい。	26年度1次補正予算 1,511百万円	地方創生推進室	一般会計	(項) 地域活性化政策費 (大事項) 地域活性化政策の推進に必要な経費		前年度新規						
施策名: 2.6 地域住民生活等緊急支援交付金の配分計画の策定等 (政策5-施策⑪)																											
034	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金に必要な経費	平成26年	平成27年	420,000	96	96		現状通り	平成26年度補正予算の事業だが、今後の関連施策の推進に資するよう、事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努めるべき。	-	-	-	-	現状通り	平成26年度限りの経費であるが、事業終了後は効果検証を行うなど、予算の効率的な執行に努めたい。	26年度1次補正予算 420,000百万円	地方創生推進室	一般会計	(項) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援推進費 (大事項) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金に必要な経費		前年度新規						
施策名: 2.7 地方版総合戦略策定支援 (政策5-施策⑫)																											
施策名: 2.8 地方分権改革に関する施策の推進 (政策6-施策⑴)																											
施策名: 2.9 「地域経済活性化支援機構法」に基づく地域経済活性化事業等の推進 (政策7-施策⑴)																											
施策名: 3.0 原子力の研究、開発及び利用に係る政策の検討・情報発信等 (政策8-施策⑴)																											
0035	原子力政策の検討及び適切な情報発信等	平成13年度	-	83	83	69		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	82	156	74	-	現状通り	予算の効率的な執行に留意しつつ、引き続き事業予算の執行管理を徹底し、効率的、効果的な事業の実施に努める。	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」55百万円	政策統括官(科学技術・イノベーション担当)	一般会計	(項) 科学技術・イノベーション政策費 (大事項) 科学技術・イノベーション政策の企画立案等に必要な経費	0037							
施策名: 3.1 科学技術イノベーション創造の推進 (政策8-施策⑵)																											
0036-01	戦略的イノベーション創造プログラム(エネルギー分野、次世代インフラ分野及び地域資源分野)	平成26年度	-	32,500	32,500	32,078		事業内容の一部改善	公開プロセスの結果を踏まえ、本事業が「投資」であることを充分認識し、グローバルな評価の視点を持つこと、厳しく工程管理を行うことをルール化して事業を推進していくべきである。	32,500	32,500	0	-	執行等改善	本事業は社会実装を強く意識した研究開発プロジェクトであることから、投入資金に対するアウトカム等の経済効果について厳しく精査し、課題の評価及び今後の予算配分に反映してまいりたい。現状が「エネ」ボードの有識者委員のうち3名は民間の企業経営者またはその経験者であり、「投資」という側面を認識できる体制になっているとの認識ではあるが、今後さらに評価者へ会計、投資の専門性を有する者を加える方向で検討を行っている。また、世界の研究開発動向を的確に把握し、各プロジェクト分野での位置づけを明確にした上で、予算配分による研究への応上げを図り、国際競争力の向上に努めてまいりたい。研究開発進捗状況については、これまでも厳しく工程管理をしてきたところであるが、研究開発状況の精査及び工程管理について、研究者自身及びガバナンスボードによる点検など多層化するにより、より一層厳しく管理するよう努めているところである。	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」5000百万円(全ての分野)、「エネルギー分野、次世代インフラ分野、地域資源分野(事業番号=0036-01)」及び「健康・医療分野(事業番号=0036-02)」全体で5,000百万円の要求	政策統括官(科学技術・イノベーション担当)	一般会計	(項) 科学技術イノベーション創造推進費 (大事項) 科学技術イノベーション創造推進に必要な経費	新26-0003	前年度新規						
0036-02	戦略的イノベーション創造プログラム(健康・医療分野)	平成26年度	-	17,500	17,500	16,407		現状通り	A,B,Cに交付された予算は、それぞれの省が求めらるる反面、本事業が「投資」であることを充分認識し、グローバルな評価の視点を持つこと、厳しく工程管理を行うことをルール化して事業を推進していくべきである。	17,500	17,500	0	-	現状通り	医療分野の研究開発に係る調整費(175億円)については、健康・医療戦略推進本部において決定される「医療分野研究開発推進計画」に基づき、内閣官房と関係省が共同で組成した9つの重点プロジェクト等(文部科学省、厚生労働省、経済産業省の当初予算で計上)に対し、日本医療研究開発機構のPO(プログラマディクト)等による研究マネジメントの下で、研究現場の状況・ニーズを踏まえ、その進捗等に応じて追加的に配分することとしており、関係省が既に予算化していた事業との重複はない。平成28年度においても、引き続き、研究現場の状況・ニーズを踏まえ予算を配分をし、日本医療研究開発機構のもと、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努めてまいりたい。	【再掲】 要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」5000百万円(全ての分野)、「エネルギー分野、次世代インフラ分野、地域資源分野(事業番号=0036-01)」及び「健康・医療分野(事業番号=0036-02)」全体で5,000百万円の要求	政策統括官(科学技術・イノベーション担当)	一般会計	(項) 科学技術イノベーション創造推進費 (大事項) 科学技術イノベーション創造推進に必要な経費	新26-0003	前年度新規						

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成26年度補正後予算額	平成26年度		外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		平成27年度当初予算額 A	平成28年度要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考	担当部署	会計区分	項・事項	平成26年度レビューシート番号	外部有識者チェック対象(公開プロセス含む)※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金
					執行可能額	執行額		評価結果	所見の概要				反映額	反映内容									
施策名: 3.2 宇宙開発利用の推進 (政策9-施策1)																							
0037	宇宙利用拡大の調査研究	平成26年度	平成27年度	93	93	88	一社入れ、確率が高かった支出先との関係では、契約先選定作業を見直すことも、必要かもしれない。そのためには、各支出先に委託した事業内容の具体的な検討が望まれる。	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めるべき。	222	400	178	-	執行等改善	外部有識者の所見を踏まえ支出先への委託事業内容についてはより具体的な検討をすることともに、引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努める。	宇宙戦略室	一般会計	(項) 宇宙開発利用政策費 (大事項) 宇宙開発利用政策の企画立案等に必要経費	新26-0004	前年度新規	○		
0038	広域災害監視衛星ネットワーク関係調査事業	平成26年度	平成27年度	250	250	231		現状通り	引き続き、事業の進捗状況等の把握に努め、必要であれば事業計画を見直し、経費の使途等を精査・確認の上、効果的・効率的な事業の実施に努めること。	80		▲80	-	現状通り	平成27年度の調査結果を踏まえ、実際の利活用等につなげるための実現可能性や妥当性等について、更に具体的な検討を行う。	宇宙戦略室	一般会計	(項) 宇宙開発利用政策費 (大事項) 宇宙開発利用政策の企画立案等に必要経費	新26-0005	平成26年度対象	○		
施策名: 3.3 実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用の推進 (政策9-施策2)																							
0039	実用準天頂衛星システム事業の推進	平成24年度	平成44年度	19,378	44,467	28,431		現状通り	引き続き、事業の進捗状況等の把握に努め、必要であれば事業計画を見直し、経費の使途等を精査・確認の上、効果的・効率的な事業の実施に努めること。	14,622	18,875	4,253	-	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施を促していく。	宇宙戦略室	一般会計	(項) 宇宙開発利用政策費 (大事項) 宇宙開発利用政策の企画立案等に必要経費	0038		○		
施策名: 3.4 防災に関する普及・啓発 (政策10-施策1)																							
0040	防災に関する普及・啓発に必要な経費	昭和57年	-	430	430	398		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意し、補助事業についても、補助金交付先における使途を明確にし、透明性の担保に努めるべき。	449	468	20	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理をし、契約についても一般競争を行い予算の効率的執行に努める。補助事業についても精算交付時に使途を精査して交付し、透明性の担保に努めていく。	政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 防災政策費 (大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要経費	0039	平成25年度対象		○	
0041	国と地方の防災を担う人材の育成に係る経費	平成25年	-	132	109	100		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	131	131	▲0	-	現状通り	事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意する。	"	"	"	0040	平成26年度対象			
施策名: 3.5 国際防災協力の推進 (政策10-施策2)																							
0042	国際防災協力の推進に必要な経費	平成10年	-	190	190	171		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	232	292	60	-	現状通り	今後も効率的な予算執行に努めながら、国際防災協力の推進を図ってまいりたい。	政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 防災政策費 (大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要経費	0041				
0043	国連防災世界会議開催経費	平成26年	平成26年	508	825	1,083	本事業が評価に値する成果を上げたことは理解できるが、アウトカム、アウトプットの記載は、あらかも一定規模の会議開催自体が本事業の目的であるかという点で、不透明である。「点検・改善結果」欄にあるように、会議を通じて達成されるべき内容をきちんと目標に掲げるべきだったと思う。	終了予定	平成26年度限りだが、外部有識者のコメントについては、今後の会議開催事業における成果目標を設定する際に役立つこと。	-	-	-	-	予定通り終了	今後、会議開催事業を実施する場合には、外部有識者のコメントを成果目標を設定する際の参考とする。	"	"	"	新26-0006	前年度新規			
施策名: 3.6 災害復旧・復興に関する施策の推進 (政策10-施策3)																							
0044	災害復旧・復興に関する施策の推進に必要な経費	平成7年	-	62	62	43		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	58	58	▲0	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意します。	政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 防災政策費 (大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要経費	0042				
0045	被災者支援に関する総合的対策の推進経費	平成25年	-	15	15	10		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	20	54	34	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、適正な予算の執行に努めたい。	"	"	"	0043	平成26年度対象			
施策名: 3.7 地震対策等の推進 (政策10-施策4)																							
0046	地震対策等の推進に必要な経費	平成12年	-	392	392	314		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	421	675	254	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努める。	政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 防災政策費 (大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要経費	0049, 新26-0008	平成26年度対象		○	
0047	総合防災情報システムの整備経費	平成7年	-	373	313	148		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	307	341	34	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理を行い、競争性を確保した契約を行うなど、予算の効率的執行に努める。	"	"	"	0050	平成26年度対象			
0048	津波避難対策推進事業	平成25年	平成26年	-	2	2		終了予定	本事業は平成26年度の執行をもって終了するが、事業開始にあたって、地方公共団体と調整不足であったと思われるため、事業の在り方について適正に総括し、今後の補助事業の改善に役立てることとする。	-	-	-	-	予定通り終了	本事業は平成26年度で終了したが、事業の在り方について総括し、今後の補助事業の改善に役立てることとする。	"	"	"	0051	平成26年度対象		○	
施策名: 3.8 防災行政の総合的推進 (政策10-施策5)																							
0049	防災基本政策の企画立案等に必要経費	平成12年	-	222	222	251		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。なお、1者応礼の改善による契約における競争性の確保に努め、一層の予算の効率的執行に留意すべき。	234	225	▲8	-	現状通り	今後も適切に予算の執行管理をし、災害発生時の緊急的な執行に対応できるように努める。1者応礼については仕様の見直しなどを行い改善を図る。	政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 防災政策費 (大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要経費	0044				
0050	被災者生活再建支援法施行に要する経費	平成11年	-	600	604	449		現状通り	本経費は、被災者からの申請に備えた経費であるため、一定の予算額を確保する必要がある。また、引き続き、補助金の交付先である被災者生活再建支援法人(財)都道府県会館)から被災者への支援金の支出状況の把握に努め、制度の円滑な運用に留意すべき。	600	600	0	-	現状通り	所見を踏まえ、引き続き、制度の円滑な運用に努める。	"	"	"	0045			○	
0051	南海トラフの巨大地震及び首都直下地震に関する応急対策活動の具体計画策定等検討経費(民間船舶を活用した医療機能の実証訓練経費)	平成24年	-	51	51	42		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	70	110	40	-	現状通り	今後も引き続き事業の適切な進捗管理をし、予算の効率的執行に努める。	"	"	"	0046	平成25年度対象			
0052	防災計画の推進経費	平成24年	-	10	10	8		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	20	20	0	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努める。	"	"	"	0047	平成25年度対象			
0053	社会全体としての事業継続体制の構築推進経費	平成26年	-	62	62	27	アウトカム欄に表示された各目標の達成年度がバラバラであり、26・27年度予算の執行によって「適切に事業が実施された」とあるが、目標達成にそれぞれの程度近づいたのか読み取れない。レビューシート上、目標達成までの全体計画と実績の関係を明らかにしていなければ、評価が難しい。	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。なお、外部有識者のコメントを踏まえ、成果目標の達成までの全体計画と実績との関係を整理し、事業の成果を把握する上で、より適切な成果目標の設定について検討すべき。	51	41	▲10	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努める。なお、外部有識者等からのご指摘を踏まえ、より適切な成果目標の設定について検討することとする。	"	"	"	新26-0007	前年度新規			
0054	災害救助等に要する経費	平成26年	-	1,105	981	716		現状通り	本経費は、予見できない災害の発生に備えた経費であるため、引き続き一定の予算額を確保する必要がある。	542	492	▲50	-	現状通り	引き続き一定の予算額を確保	"	"	"	0048				

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成26年度補正後予算額	平成26年度		外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		平成27年度当初予算額 A	平成28年度要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考	担当部署	会計区分	項・事項	平成26年度レシート番号	外部有識者チェック対象(公開プロセス含む)※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金		
					執行可能額	執行額		評価結果	所見の概要				反映額	反映内容											
施策名: 39 原子力災害対策の充実・強化(政策11-施策1)																									
0055	原子力災害対策施設整備事業	平成24年	平成26年	-	25,891	17,544	-	終了予定	本事業は、公開プロセスの結果を踏まえ、27年度の執行をもって終了する。	-	-	-	予定通り終了	本事業は、公開プロセスの結果を踏まえ、27年度の執行をもって終了する。		政策統括官(原子力防災担当)	一般会計	(項)原子力災害対策費(大事項)原子力災害対策に必要な経費	0014	平成26年対象			○		
0056	原子力災害対策事業	平成26年	平成27年	9,000	9,000	-	終了予定	(本事業が平成27年度の執行をもって終了するが、予算を繰り越したことから来年も外部有識者の点検を依頼する予定の事業)外部有識者の所見を踏まえ、交付先、予算により助成を図りたい事業が適切に選択されているかを、十分に調査し、内部で検証するのが望ましい。		-	-	-	予定通り終了	今後、額の確定等を通じて、交付先、予算により助成を図りたい事業が適切に選択されているかの調査・確認を行う。	26年度1次補正予算9,000百万円	"	"	(項)原子力災害対策費(大事項)原子力災害対策に必要な経費	-	前年度新規			○		
0057	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金	昭和55年	-	12,047	18,775	13,000	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	12,170	25,679	13,509	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意する。	新しい日本のための優先課題推進枠5,578百万円	"	エネルギー対策特別会計電源開発促進決定	(項)原子力安全規制対策費(大事項)原子力の安全規制対策に必要な経費	0015	平成25年対象			○	
施策名: 40 原子力被災者生活支援の推進(政策11-施策2)																									
施策名: 41 沖縄の自主性・自立性の確保に係る施策の推進(政策12-施策1)																									
0058	沖縄振興交付金事業推進費	平成24年	平成33年	176,321	172,061	164,712	-	現状通り	交付金事業の効果測定や検証を行い、適切な交付金活用のためのフォローアップに努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	161,759	161,759	▲0	-	現状通り	引き続き、県による事業評価について検証等を行い、交付金の効果的な活用のためのフォローアップに努めていく。	26年度1次補正予算440百万円	政策統括官(沖縄政策担当)沖縄振興局	一般会計	(項)沖縄振興交付金事業推進費(大事項)沖縄振興交付金事業の推進に必要な経費	0052	平成25年対象			○	
施策名: 42 沖縄振興計画の推進に関する調査(政策12-施策2)																									
0059	沖縄における鉄軌道等導入課題検討に必要な経費	平成24年	-	196	196	106	-	現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	196	150	▲46	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見も踏まえ、適切な予算執行等に努める。		政策統括官(沖縄政策担当)	一般会計	(項)沖縄政策費(大事項)沖縄政策の推進に必要な経費	0053	平成25年対象			○	
0060	沖縄振興推進調査費	平成24年	平成33年	62	62	54	-	現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	62	62	0	-	現状通り	引き続き、適切な予算の効率的執行に努めつつ、沖縄振興法に基づき諸施策をより推進するための調査・検証・評価等を行っていく。		"	"	(項)沖縄振興推進調査費(大事項)沖縄振興推進調査に必要な経費	0054	平成25年対象			○	
施策名: 43 沖縄における社会資本等の整備(政策12-施策3)																									
0061	公立文教施設整備に必要な経費	昭和47年	-	8,545	5,891	5,788	-	現状通り	例えば必要性の記述についてだが、「社会的ニーズ」「自治体との役割分担」「目的・手段の妥当性」の現明のすべてについて、いずれも「国として実現すべき優先度の高い事業」と書かれている。この点について、「社会的ニーズ」については沖縄の地域特性などを、「自治体との役割分担」については補助率の妥当性などを、「目的・手段の妥当性」については文部科学省ではなく内閣府が行うべき理由などをそれぞれ記載しうるのではないだろうか。大きな問題は、「内閣府がこの事業を実施する必要性は何か」であるので、それを合理的に説明していただきたい。なお、以下の項目にも同じような説明上の問題があるように思われる。	8,034	9,423	1,389	-	現状通り	沖縄振興計画に基づく事業のうち、公共事業を中心とした関連事業の全体的把握及び事業相互間の進捗調整を行う必要がある経費は、「内閣府設置法」等に基づき内閣府で事業を一括計上することとしており、本事業を一括計上の対象となっていることから、内閣府において実施する必要性がある。また、所見を踏まえ、事業実施省庁と連携し、適正な予算の執行に努めたい。		沖縄振興局	一般会計	(項)沖縄教育振興事業費(大事項)公立文教施設整備に必要な経費	0055	その他			○	
0062	医師歯科医師等の派遣に必要な経費	昭和47年	-	4	4	2	-	現状通り	事業実施省庁と連携し、事業の有効性・効果について適切に検証すること。また、事業の進捗状況を的確に把握し、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	4	2	▲2	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、事業実施省庁と連携のもと、事業の有効性・効果の検証及び事業の進捗状況を的確な把握を行い、適正な予算の執行や概算要求への反映に努めたい。		"	"	(項)沖縄保健衛生諸費(大事項)医師歯科医師等の派遣に必要な経費	0056					
0063	沖縄北部連携促進特別振興対策特定開発事業費	平成24年	平成33年	2,572	2,527	2,291	-	現状通り	事業実施省庁と連携し、事業の有効性・効果について適切に検証すること。また、事業の進捗状況を的確に把握し、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	2,572	2,572	0	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、事業計画期間終了後、その効果を適切に評価するとともに、事業の進捗状況を的確に把握していく。		"	"	(項)沖縄北部連携促進特別振興対策特定開発事業費(大事項)沖縄北部連携促進特別振興対策に係る特定開発事業の推進に必要な経費	0057	平成25年対象				
0064	(建設海岸)海岸事業調査費	昭和47年	-	3	3	3	-	現状通り	事業実施省庁と連携し、事業の有効性・効果について適切に検証すること。また、事業の進捗状況を的確に把握し、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	3	3	▲0	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き事業の進捗状況の把握に努めたい。		"	"	(項)沖縄開発事業費(大事項)海岸事業に必要な経費	0058					○
0065	(港湾海岸)海岸事業調査費	昭和47年	-	4	4	4	-	現状通り	事業実施省庁と連携し、事業の有効性・効果について適切に検証すること。また、事業の進捗状況を的確に把握し、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	4	4	▲0	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き事業の進捗状況の把握に努めたい。		"	"	"	0059					○
0066	水道施設整備に必要な経費	昭和47年	-	2,530	2,495	2,495	-	現状通り	事業実施省庁と連携し、事業の有効性・効果について適切に検証すること。また、事業の進捗状況を的確に把握し、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	2,547	3,350	803	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、事業実施省庁と連携のもと、事業の有効性・効果の検証及び事業の進捗状況を的確な把握を行い、適正な予算の執行や概算要求への反映に努めたい。		"	"	(項)沖縄開発事業費(大事項)水道施設整備に必要な経費	0060	平成26年対象				○
0067	廃棄物処理施設整備に必要な経費	昭和47年	-	1,595	1,318	1,085	-	現状通り	事業実施省庁と連携し、事業の有効性・効果について適切に検証すること。また、事業の進捗状況を的確に把握し、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	1,166	1,364	198	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、事業実施省庁と連携のもと、事業の有効性・効果の検証及び事業の進捗状況を的確な把握を行い、適正な予算の執行や概算要求への反映に努めたい。		"	"	(項)沖縄開発事業費(大事項)廃棄物処理施設整備に必要な経費	0061					○
0068	良好で緑豊かな都市空間の形成等のための国営公園事業に必要な経費	昭和47年	-	3,087	3,058	3,052	-	現状通り	事業実施省庁と連携し、事業の有効性・効果について適切に検証すること。また、事業の進捗状況を的確に把握し、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	3,116	3,232	116	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き事業の進捗状況の把握に努めたい。		"	"	(項)沖縄開発事業費(大事項)良好で緑豊かな都市空間の形成等のための国営公園事業に必要な経費	0062	平成26年対象				○
0069	森林整備事業に必要な経費	平成23年	-	270	420	327	-	現状通り	総括部分において、農林水産省と連携している点に留意している。この点に関連し、そもそも内閣府と農水省との間において、いかなる方針に基づき、どのような役割分担、あるいは連携等を回っているのかという点について、記述可能な範囲で、「関連事業」の記述箇所にも説明をさせていただいていただろう。	275	320	45	-	現状通り	沖縄振興予算の仕組み(内閣府の役割、事業実施省庁との連携)について、備考欄に記載した。今後の事業の推進に当たっては、事業実施省庁と連携し、事業の進捗状況を的確に把握した上で、推進して参る所存。		"	"	(項)沖縄開発事業費(大事項)森林整備事業に必要な経費	0063	その他				○

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成26年度 補正後予算額	平成26年度		外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		平成27年度 当初予算額 A	平成28年度 要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考	担当部局	会計区分	項・事項	平成26年 レビュー シート番号	外部有識者チェック 対象(公開プロセス含む) ※対象となる場合、理由を記載	委託 調査	補助 金等	基金		
					執行 可能額	執行額		評価結果	所見の概要				反映額	反映内容											
0070	治山事業に必要な経費	昭和26年	-	318	437	428	-	現状通り	事業実施省庁と連携し、事業の有効性・効果について適切に検証すること。また、事業の進捗状況を的確に把握し、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	288	350	62	-	現状通り	今後の事業の推進に当たっては、事業実施省庁と連携し、事業の進捗状況を的確に把握した上で、推進して参る所存。	経済危機対策地域活性化予算 30年度1次補正予算300百万円	〃	〃	(項) 沖縄開発事業費 (大事項) 治山事業に必要な経費	0064					〇
0071	水産基盤整備に必要な経費	平成13年	-	3,863	4,696	4,333	-	現状通り	事業実施省庁と連携し、事業の有効性・効果について適切に検証すること。また、事業の進捗状況を的確に把握し、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	3,848	3,529	▲319	-	現状通り	今後の事業の推進に当たっては、事業実施省庁と連携し、事業の進捗状況を的確に把握した上で、推進して参る所存。	経済危機対策地域活性化予算 30年度1次補正予算500百万円	〃	〃	(項) 沖縄開発事業費 (大事項) 水産基盤整備に必要な経費	0065	平成26年対象				〇
0072	農地等保全事業に必要な経費	昭和47年	-	33	65	65	-	現状通り	事業実施省庁と連携し、事業の有効性・効果について適切に検証すること。また、事業の進捗状況を的確に把握し、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	98	54	▲44	-	現状通り	今後の事業の推進に当たっては、事業実施省庁と連携し、事業の進捗状況を的確に把握した上で、推進して参る所存。		〃	〃	(項) 沖縄開発事業費 (大事項) 農地等保全事業に必要な経費	0066					〇
0073	農業生産基盤安全管理・整備事業に必要な経費	昭和47年	-	5,694	6,371	6,324	-	現状通り	事業実施省庁と連携し、事業の有効性・効果について適切に検証すること。また、事業の進捗状況を的確に把握し、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	7,063	7,365	302	-	現状通り	今後の事業の推進に当たっては、事業実施省庁と連携し、事業の進捗状況を的確に把握した上で、推進して参る所存。		〃	〃	(項) 沖縄開発事業費 (大事項) 農業生産基盤安全管理・整備事業に必要な経費	0067	平成26年対象				〇
0074	農業競争力強化基盤整備事業に必要な経費	平成24年	-	5,434	6,522	6,512	-	現状通り	事業実施省庁と連携し、事業の有効性・効果について適切に検証すること。また、事業の進捗状況を的確に把握し、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	4,618	4,666	48	-	現状通り	今後の事業の推進に当たっては、事業実施省庁と連携し、事業の進捗状況を的確に把握した上で、推進して参る所存。		〃	〃	(項) 沖縄開発事業費 (大事項) 農業競争力強化基盤整備事業に必要な経費	0068	平成25年対象				〇
0075-01	社会資本総合整備事業に必要な経費 (社会資本整備総合交付金)	平成22年	-	15,137	15,622	15,585	-	現状通り	事業実施省庁と連携し、事業の有効性・効果について適切に検証すること。また、事業の進捗状況を的確に把握し、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	14,687	14,887	200	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き事業の進捗状況を把握に努めたい。		〃	〃	(項) 沖縄開発事業費 (大事項) 社会資本総合整備事業に必要な経費	0069-①					〇
0075-02	社会資本総合整備事業に必要な経費 (防災・安全社会資本整備交付金)	平成24年	-	4,106	4,421	4,232	-	現状通り	事業実施省庁と連携し、事業の有効性・効果について適切に検証すること。また、事業の進捗状況を的確に把握し、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	4,118	4,659	541	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き事業の進捗状況を把握に努めたい。		〃	〃	(項) 沖縄開発事業費 (大事項) 社会資本総合整備事業に必要な経費	0069-②					〇
0076	公立文教施設整備に必要な経費	平成24年	-	942	725	696	-	現状通り	事業実施省庁と連携し、事業の有効性・効果について適切に検証すること。また、事業の進捗状況を的確に把握し、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	1,481	-	▲1,481	-	現状通り	全国防災事業が平成27年度限りで終了する方針が示されたことに伴い、東日本大震災復興特別会計での概算要求は行わないが、引き続き一般会計において学校の耐震化を図る予算を要求する。行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、事業実施省庁と連携し、適正な予算の執行に努めたい。		〃	東日本大震災復興特別会計	(項) 沖縄教育振興事業費 (大事項) 公立文教施設整備に必要な経費	0070	平成25年対象				〇
0077	沖縄開発事業(旧社会資本整備事業特別会計上分)	平成26年	-	49,511	53,427	51,668	-	現状通り	事業実施省庁と連携し、事業の有効性・効果について適切に検証すること。また、事業の進捗状況を的確に把握し、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	47,749	49,023	1,274	-	現状通り	沖縄振興予算の仕組み(内閣府の役割、事業実施省庁との連携)について、備考欄に記載したとおり、備考欄に外部有識者や行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き事業の進捗状況を把握に努めたい。	26年度1次補正予算108百万円	〃	一般会計	(項) 沖縄開発事業費 (大事項) 河川整備事業に必要な経費 (大事項) 砂防事業に必要な経費 (大事項) 地域連携道路事業に必要な経費 (大事項) 道路更新防災対策事業及び維持管理に必要な経費 (大事項) 道路交通円滑化事業に必要な経費 (大事項) 港湾事業に必要な経費 (大事項) 道路環境改善事業に必要な経費 (大事項) 道路交通安全対策事業に必要な経費	新26-0009	前年度新規			〇	〇
施策名: 4.4 沖縄の特殊事情に伴う特別対策(政策1.2-施策4)																									
0078	駐留軍用地跡地利用推進に必要な経費	平成9年	-	77	77	38	-	現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	360	1,255	895	-	現状通り	引き続き、予算の効率的執行に努めるとともに、実績を適切に概算要求に反映していく。		政策統括官(沖縄政策担当)	一般会計	(項) 沖縄政策費 (大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	0071	平成26年対象				〇
0079-001	沖縄の特殊事情に伴う特別対策に必要な経費(沖縄振興開発金融公庫・補給金)	昭和48年	-	1,009	1,009	77	-	事業内容の一部改善	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、不用品が早い執行実績を踏まえて、適切な概算要求となるよう改善すべき。	1,044	1,042	▲2	-	現状通り	沖縄公庫補給金は、公庫が事業を実施することで生じる損益収支上の不足額を国が補給金として交付するものであり、これにより、損益収支の均衡が図られ、公庫業務の内滞な運営に資するものである。補給金の要求にあたっては、将来予測を含む翌年度決算見込みが算定の基礎となるため、必然的に不確実性を伴う事情がある。概算要求の時点において、利用可能な情報を最大限に用いて必要な経費を要求しているところであるが、所見を踏まえ、決算見込みの精度向上が図られるよう努めてまいりたい。		沖縄振興局	〃	(項) 沖縄政策費 (大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	0073-①	平成26年対象			〇	

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成26年度補正後予算額	平成26年度		外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		平成27年度当初予算額 A	平成28年度要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考	担当部局	会計区分	項・事項	平成26年レビューシート番号	外部有識者チェック対象(公開プロセス含む)※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金	
					執行可能額	執行額		評価結果	所見の概要				反映額	反映内容										
0079-002	沖縄の特殊事情に伴う特別対策に必要な経費(沖縄振興開発金融公庫に対する出資金に必要な経費)	昭和47年	-	-	-	-	-	現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	-	-	-	-	現状通り	沖縄振興局	"	-	0073-②	平成26年対象					
0080	沖縄科学技術大学院大学学園に必要な経費	平成23年	-	20,621	20,933	20,932	-	現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	16,726	17,676	950	-	現状通り	26年度1次補正予算016百万円	"	"	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄科学技術大学院大学学園に必要な経費	0074	平成25年対象			○	
0081	沖縄北部連携促進特別振興事業費	平成24年	平成33年	2,572	2,608	2,528	-	現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	2,572	2,572	0	-	現状通り	政策統括官(沖縄政策担当)	"	"	(項) 沖縄北部連携促進特別振興事業費(大事項) 沖縄北部連携促進特別振興事業に必要な経費	0075	平成25年対象			○	

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成26年度 補正後予算額	平成26年度		外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		平成27年度 当初予算額 A	平成28年度 要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考	担当部局	会計区分	項・事項	平成26年 レビュー シート番号	外部有識者チェック 対象(公開プロセス含む) ※対象となる場合、理由を記載	委託 調査	補助 金等	基金
					執行 可能額	執行額		評価結果	所見の概要				反映額	反映内容									
施策名: 4.5 沖縄の戦後処理対策(政策1.2-施策5)																							
0082	沖縄の戦後処理対策に必要な経費	昭和50年	-	2,693	2,716	2,049		現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	2,883	2,908	25	-	現状通り		沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄政策費 (大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	0076	その他	○	○	
施策名: 4.6 子ども・若者育成支援の総合的推進(子ども・若者ビジョン)(政策1.3-施策1)																							
施策名: 4.7 青少年インターネット環境整備の総合的推進(青少年インターネット環境整備基本計画)(政策1.3-施策2)																							
施策名: 4.8 子ども・若者育成支援に関する広報啓発、調査研究等(政策1.3-施策3)																							
0083	子ども・若者育成支援推進経費	昭和41年度	-	302	302	233	-	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。	285	258	▲27	▲27	現状通り		政策統括官(共生社会政策担当)	一般会計	(項) 共生社会政策費 (大事項) 共生社会政策の企画立案等に必要な経費	0082	平成26年対象			
0084	保育緊急確保事業に必要な経費	平成26年度	平成26年度	104,337	104,337	57,383	-	終了予定	有識者の所見を踏まえ、精算、不用等について再度分析し、今後同様の事業があった場合に参考にするべき。	-	-	-	-	現状通り		"	"	"	新26-0010	行革推進会議		○	
施策名: 4.9 食育の総合的推進(食育推進基本計画)(政策1.3-施策4)																							
施策名: 5.0 食育に関する広報啓発、調査研究等(政策1.3-施策5)																							
0085	食育推進経費	平成18年度	-	42	42	40		現状通り	食育の重要性については十分理解が深まっているはず。意識調査や全国大会、ボランティア表彰も重要だが、次のステップに進めたらどうか。	38		▲38	-	現状通り		政策統括官(共生社会政策担当)	一般会計	(項) 共生社会政策費 (大事項) 共生社会政策の企画立案等に必要な経費	0084	その他			
施策名: 5.1 高齢社会対策の総合的推進(高齢社会対策大綱)(政策1.3-施策6)																							
施策名: 5.2 高齢社会対策に関する広報啓発、調査研究等(政策1.3-施策7)																							
0086	高齢社会対策推進経費	昭和49年度	-	42	42	40	-	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。	58	37	▲21	-	現状通り		政策統括官(共生社会政策担当)	一般会計	(項) 共生社会政策費 (大事項) 共生社会政策の企画立案等に必要な経費	0085				
施策名: 5.3 バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進に関する広報啓発、調査研究等(政策1.3-施策8)																							
0087	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進経費	平成14年度	-	5	5	3	-	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。	5	5	▲0	-	現状通り		政策統括官(共生社会政策担当)	一般会計	(項) 共生社会政策費 (大事項) 共生社会政策の企画立案等に必要な経費	0086				
施策名: 5.4 障害者施策の総合的推進(障害者基本計画)(政策1.3-施策9)																							
施策名: 5.5 障害者施策に関する広報啓発、調査研究等(政策1.3-施策10)																							
0088	障害者施策推進経費	昭和56年度	-	99	99	83	-	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。	97	98	1	-	現状通り		政策統括官(共生社会政策担当)	一般会計	(項) 共生社会政策費 (大事項) 共生社会政策の企画立案等に必要な経費	0087				
施策名: 5.6 交通安全対策の総合的推進(交通安全基本計画)(政策1.3-施策11)																							
施策名: 5.7 交通安全対策に関する広報啓発、調査研究等(政策1.3-施策12)																							
0089	交通安全対策推進経費	昭和45年度	-	127	127	110	-	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。	116	109	▲8	8	縮減		政策統括官(共生社会政策担当)	一般会計	(項) 共生社会政策費 (大事項) 共生社会政策の企画立案等に必要な経費	0088	平成25年対象			
施策名: 5.8 犯罪被害者等施策の総合的推進(犯罪被害者等基本計画)(政策1.3-施策13)																							
施策名: 5.9 犯罪被害者等施策に関する広報啓発・連携推進等(政策1.3-施策14)																							
0090	犯罪被害者等施策推進経費	平成17年度	-	53	53	27	-	現状通り	不用率の高さを勘案し、事業の効果を検証したうえで、より効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、執行実績を概算要求に反映させること。	44	42	▲2	2	縮減		政策統括官(共生社会政策担当)	一般会計	(項) 共生社会政策費 (大事項) 共生社会政策の企画立案等に必要な経費	0089	平成25年対象			
施策名: 6.0 自殺対策の総合的推進(自殺対策大綱)(政策1.3-施策15)																							

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成26年度補正予算額	平成26年度		外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		平成27年度当初予算額 A	平成28年度要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考	担当部署	会計区分	項・事項	平成26年度レビューシート番号	外部有識者チェック対象(公開プロセス含む) ※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金	
					執行可能額	執行額		評価結果	所見の概要				反映額	反映内容										
																								執行可能額
施策名: 6.1 自殺対策に関する広報啓発、調査研究等(政策1.3-施策⑯)																								
0091	自殺対策推進経費	平成19年度	-	185	185	135	厚生労働省に移管されるということであるから、ひとつの節目を迎えることになると思われるが、「改善の方向性」にも記載されている通り、これまでの内閣府における自殺対策推進事業をぜひとも包括していただきたい。自殺は厚生労働省の所管業務以外にもいじめ自殺や経済問題など複数の官庁にまたがった問題であるということ、政府全体としての政府広報にかかるといったことなどから内閣府に置かれていたとも思われるが、その意義を整理しておくことは重要ではないだろうか。	現状通り	自殺総合対策推進事業の効果を検証し、より効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、執行実績を概算要求に反映させること。	152	136	▲16	16	縮減	統一ダイヤルの受付け件数を確認することにより、事業の広報効果を検証しつつ、効果的・効率的な事業の実施に努めている。また、概算要求において、執行実績に基づき広報・啓発経費の見直しを行った。		政策統括官(共生社会政策担当)	一般会計	(項) 共生社会政策費(大事項) 共生社会政策の企画立案等に必要経費	0090	その他			
0092-001	地域自殺対策緊急強化事業(地域自殺対策緊急強化基金)	平成21年度	平成27年度	-	-	-	緊急強化事業の取り組みによって自殺者数は大幅に減少した(高い有効性があった)ということであり、その取り組みも収束を迎えるということであるが、自殺総合対策大綱という大きなプログラムのなかで、この事業がどのような意味をもち、何ができて何ができなかったのか、うまくいったところはどこで、うまくいかなかったところはどこか、今後とも重要な知見、貴重な経験となるものであることから、しっかりと総括をして整理をしていただきたい。	現状通り	基金の運用について、より効果的・効率的な事業の実施を図るため、引き続き優良事例の周知を行うなど、さらなる地域における取組を推進させること。	-	-	-	-	現状通り	取組事例集を作成して優良事例の周知を行うなど、地域における取組の促進を図っている。また、より効果的・効率的な事業の実施を図ることを含め、内閣府において有識者による会議を開催して事業の検証及び評価を行っている。	26年度1次補正予算2,500百万円	"	"	"	0091	その他	○	○	
0092-002	地域自殺対策緊急強化事業(地域自殺対策強化交付金)	平成26年度	-	2,500	2,500	6	緊急強化事業の取り組みによって自殺者数は大幅に減少した(高い有効性があった)ということであり、その取り組みも収束を迎えるということであるが、自殺総合対策大綱という大きなプログラムのなかで、この事業がどのような意味をもち、何ができて何ができなかったのか、うまくいったところはどこで、うまくいかなかったところはどこか、今後とも重要な知見、貴重な経験となるものであることから、しっかりと総括をして整理をしていただきたい。	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。	-	2,500	2,500	-	現状通り	地方の自主財源とも組み合わせつつ、引き続き、効果的・効率的な事業の実施を図る。	26年度1次補正予算2,500百万円	"	"	"	0091	その他	○		
施策名: 6.2 子どもの貧困対策の総合的推進(子どもの貧困対策に関する大綱)(政策1.3-施策⑰)																								
施策名: 6.3 子どもの貧困対策に関する調査研究等(政策1.3-施策⑱)																								
0093	子どもの貧困対策調査研究等経費	平成26年度	-	42	42	5	子どもの貧困は大きな社会問題になっている。マスコミ報道、研究者の論文も多い。いままら調査研究やブロック会議の段階ではないはず。	現状通り	有識者の所見を踏まえ、事業の進捗状況を把握し、その手法や効果を検討し、経費の使途等を精査・確認の上、効果的・効率的な事業の実施に努めること。	108	288	180	-	現状通り	レビューチームの指摘を踏まえ、事業の進捗状況等を把握し、その手法や効果を検討し、経費の使途等を精査・確認の上、効果的・効率的な事業の実施に努める。		政策統括官(共生社会政策担当)	一般会計	(項) 共生社会政策費(大事項) 共生社会政策の企画立案等に必要経費	新26-0011	前年度新規			
施策名: 6.4 アルコール健康障害対策の推進(政策1.3-施策⑲)																								
0094	アルコール健康障害対策理解促進経費	平成26年度	平成31年度	7	7	8	アルコール健康障害対策基本法(以下「法」という。)の施行に伴い、国民の間には「アルコール健康障害対策に関する関心」が深まり、国民自身がアルコール健康障害の予防に必要な意識をもち、行動できるようになり、もって国民の健康を保護し、安心して暮らすことのできる社会の実現に寄与することを目的とする。	現状通り	有識者の所見を踏まえ、事業の進捗状況を把握し、その手法や効果を検討し、経費の使途等を精査・確認の上、効果的・効率的な事業の実施に努めること。	11	19	8	-	現状通り	平成28年度要求においては、アルコール健康障害対策啓発ポスター及びリーフレットの啓発対象者の作成とともに、地方公共団体等関係員向け、「アルコール健康障害対策推進基本計画」の理解を促進するためのガイドブックの作成にかかる経費を要求している。引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めてまいりたい。		政策統括官(共生社会政策担当)	一般会計	(項) 共生社会政策費(大事項) 共生社会政策の企画立案等に必要経費	新26-0018	前年度新規			
施策名: 6.5 青年国際交流の推進(政策1.3-施策⑳)																								
0095	青年国際交流経費	昭和34年度	-	1,174	1,174	1,200	高校や大学のグローバル化関連事業が多い中、昭和34年度から続いているこの事業はいまや時代錯誤。セクショナリズムにとらわれている中で他者や地方公共団体での連携の機会が多くなることについていいのではないかと、意見を伝え、対象を変えるべきである。たとえば、経済的問題があり、あるいは病気が原因で高校、大学に「進学したかったができなかった子ども」を対象にして、同じような問題で悩んでいる海外の子どもとの交流の場にしたらどうか。	事業内容の一部改善	有識者の所見を踏まえ、プログラムの見直しを行うなど、より効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、見直し・改善の結果を概算要求に反映させること。	1,351	1,476	125	-	執行等改善	平成24年度行政事業レビュー以降の指摘を踏まえ、船上研修を伴う事業を中心に、24年度以降、調査・研究及び外部有識者による検討会を実施、開催し、事業の成果検証及び今後の事業のあり方等について検討を行ってきたところ。そのうち、平成26年の「内閣府青年国際交流事業の効果測定・評価に関する調査・研究」においては、内閣府事業参加者が他の国際交流事業の参加者と比較して①リーダーシップの発揮、②人的ネットワークの形成等において優位性がみられた等の分析があり、また、船上研修が強い人的ネットワークの形成や異文化対応力の育成に貢献していることが指摘された。さらに、事業を行うにあつての参加青年の多様性の確保が課題とされた。また、同年に開催した各国政府連絡会議においても、長期の船上研修の必要性、異文化理解のために外国語が望ましいこと等が指摘された。さらに、平成27年の「青年国際交流事業の効果検証に関する検討会」においては、効果測定の方向性について、①効果が長期にわたって発現する事業の検証に留意し、事業中・終了直後・事業から1年後/中長期のフォローアップの計3回に分けて事業目的に沿って実施すること、②参加青年の成長については、次世代グローバルリーダーに必要な能力に絞って評価を行うとともに、事業における個人目標の達成度合いについても評価対象とすることといった指摘がなされた。こうした調査・研究及び外部有識者による検討等の結果を踏まえ、平成27年度においては、社会で活躍するリーダーを育成するために、参加者の自主性や企画力を育てるといった観点からプログラムの大幅な見直しを行い、さらに、交流対象国を戦略的に選定する等の対応を行うこととし、34日程度かけて海外の寄港を行う次世代グローバルリーダー事業「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」(平成28年1月~3月)を実施することとした。加えて、成果指標の設定において、グローバルリーダーの育成という事業の目的に即したものとすよう、リーダーシップ等の諸能力の成長度合いの評価や、人的ネットワークの広がり、社会貢献活動参加意欲の向上に関する評価ができる指標を設定することとした。平成28年1月からの本事業実施後、引き続き外部有識者による検討会を開催することとし、効果検証を行い、更なる見直し、改善を図ることとしている。そうした中で、地方在住者や社会人の一層の参加を促し、参加青年の多様化を図り、また、意欲はあるが経済的困難を抱える青年の参加を促すために、平成28年度概算要求においては、一般の参加青年に一定程度の自己負担を求め、一方で、参加費免除枠を拡充することとした。		政策統括官(共生社会政策担当)	一般会計	(項) 共生社会政策費(大事項) 共生社会政策の企画立案等に必要経費	0092	行革推進会議			
施策名: 6.6 栄典事務の適切な遂行(政策1.4-施策㉑)																								
0096	栄典事務の適切な遂行に必要な経費	明治9年度	-	2,685	2,685	2,682		現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、事業の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	2,726	2,718	▲8	-	現状通り	引き続き適切な価格交渉を行い、その結果を概算要求に反映させた。		賞給局	一般会計	(項) 栄典行政費(大事項) 栄典事務の適切な遂行に必要な経費	0089	平成25年対象			

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成26年度 補正後予算額	平成26年度		外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		平成27年度 当初予算額 A	平成28年度 要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考	担当部局	会計区分	項・事項	平成26年 レビュー シート番号	外部有識者チェック 対象(公開プロセス含む) ※対象となる場合、理由を記載	委託 調査	補助 金等	基金			
					執行 可能額	執行額		評価結果	所見の概要				反映額	反映内容												
施策名: 7.4 食品健康影響評価技術研究の推進 (政策16-施策①)																										
0105	食品健康影響評価技術の研究に必要な経費	平成17年度	-	194	194	188	-		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	194	227	33	-	執行等改善	平成22年12月16日に策定した概ね5年間で必要な調査・研究についての目標や道筋等となる「食品の安全性のための調査・研究の推進の方向性について」に基づき、リスク評価への有用性の観点から新規採択を行ってきた。また、受託機関を対象に現地調査を実施し、研究の進捗状況の把握や研究費について、使途・使用時期・管理状況等の把握を行うなどの適正化に努め、予算の効率的な執行を行っている。 また、公開プロセスの指摘を受け、 ①研究テーマの選定から評価までの過程の透明性を高めるため、事前・中間評価と事後評価の評価者を一歩入れ替える。 ②研究実施体制における有効性の確保に関して、国と分担研究者との間の直接契約について検討する。 ③研究のリスク管理への活用度の明確化については従来の事前評価・中間評価に加え、研究成果がリスク評価に活用されたかについて、過年度の研究事業も含めて追跡評価を実施するとともに、リスク評価結果がその後のリスク管理にどのように結びつたかについても明確化することとしている。 さらに、最新の科学的知見や、国際動向等を踏まえつつ、リスク評価への一層の活用、国民への分かりやすさを最優先とし、平成26年度末に「食品の安全性のための調査・研究の推進の方向性について」を改訂したところであり、さらに効率的かつ効果的な研究の実施を加速化していくこととしている。	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」52百万円	食品安全委員会	一般会計	(項) 食品安全政策費(大事項) 食品健康影響評価技術の研究に必要な経費	0098	平成26年対象				○
施策名: 7.5 食品安全の確保に必要な総合的施策の推進 (政策16-施策②)																										
0106	リスクコミュニケーション実施経費	平成15年度	-	27	27	25	-		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	27	47	21	-	現状通り	食品安全のホームページやパンフレットの作成等のリスクコミュニケーション実施に係る支出については、一般競争入札や社以上から見積もりを取るなどの競争性の確保、意見交換会の計画的な実施など事業の適切な進捗管理を行い、引き続き予算の効率的な執行に努めていく。	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」24百万円	食品安全委員会	一般会計	(項) 食品安全政策費(大事項) 食品安全の確保に必要な経費	0099					
施策名: 7.6 公益法人制度の運営と認定・監督等の実施 (政策17-施策①)																										
0107	公益法人制度の適正な運営の推進に必要な経費	平成19年度	-	94	94	70	-		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	89	140	51	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意する。	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」31百万円	公益認定等委員会	一般会計	(項) 公益法人制度適正運営推進費(大事項) 公益法人制度の適正な運営の推進に必要な経費	0100					
施策名: 7.7 経済社会活動の総合的研究 (政策18-施策①)																										
0108	経済社会活動の総合的研究に必要な経費	平成12年	-	332	332	248	-		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	383	407	24	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努める。		経済社会総合研究所	一般会計	(項) 経済社会総合研究所(大事項) 経済社会活動の研究等に必要な経費	0101	平成26年対象			○	
施策名: 7.8 国民経済計算 (政策18-施策②)																										
0109	国民経済計算に必要な経費	平成12年	-	223	223	184	-		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	258	231	▲27	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意する。		経済社会総合研究所	一般会計	(項) 経済社会総合研究所(大事項) 経済社会活動の研究等に必要な経費	0102				○	
施策名: 7.9 人材育成、能力開発 (政策18-施策③)																										
0110	経済研修所運営に必要な経費	平成12年	-	13	13	9	-		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	13	12	▲1	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意する。		経済社会総合研究所	一般会計	(項) 経済社会総合研究所(大事項) 経済社会活動の研究等に必要な経費	0103					
施策名: 8.0 迎賓施設の適切な運営 (政策19-施策①)																										
0111	赤坂迎賓館参観経費	昭和50年度	-	16	16	22	-		現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	19	19	▲0	-	現状通り	事業内容について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映した。		迎賓館	一般会計	(項) 迎賓施設運営費(大事項) 迎賓施設の運営に必要な経費	0104					
0112	京都迎賓館参観経費	平成17年度	-	13	13	13	-		現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	12	12	0	-	現状通り	事業内容について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映した。		"	"	"	0105					
施策名: 8.1 北方領土問題解決促進のための施策の推進 (政策20-施策①)																										
0113	北方領土返還要求運動推進等経費	昭和43年度	-	85	85	81	-		現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	77	91	13	-	現状通り	引き続き適正な予算の執行、事業成果の検証に努める。	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」40	北方対策本部	一般会計	(項) 北方対策本部(大事項) 北方領土問題対策に必要な経費	0106				○	
施策名: 8.2 子ども・子育て支援の推進 (政策21-施策①)																										
0114	子ども・子育て支援に必要な経費	平成17年度	-	213	440	417	-		現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。	268	258	▲10	-	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努める。	所管替えにより共生社会より引き継ぎ26年度1次補正予算27百万円	子ども・子育て本部	一般会計	(項) 子ども・子育て本部(大事項) 子ども・子育て支援に必要な経費	0083					

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成26年度補正後予算額	平成26年度		外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		平成27年度当初予算額 A	平成28年度要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考	担当部署	会計区分	項・事項	平成26年レビューシート番号	外部有識者チェック対象(公開プロセス含む)※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金		
					執行可能額	執行額		評価結果	所見の概要				反映額	反映内容											
0115	地域少子化対策強化事業	平成25年度	平成26年度	3,008	6,016	1,919	公開プロセス評価結果:事業全体の抜本的改善4、事業内容の一部改善1、廃止1地域の特性に合った、持続的な少子化対策を実施するために、各地方公共団体の既存事業のPOCサイクルを把握した上で、国においても100補助という点も考慮した上で、定量的成果目標を設定し、地方創生との連携を図っていくべきである。	事業全体の抜本的改善	公開プロセスの結果を踏まえ、事業の見直しを行い、概算要求に反映させること。	-	2,515	2,515	-	縮減	文付金の申請元自治体に、重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標を設定し、毎年度、効果検証を行い、検証結果及び参考指標を子ども・子育て本部に報告するとともに、次年度の取組に反映されるようにPOCサイクルを確立させるよう求め、さらに、申請元自治体に、交付金を活用した取組のみならず、当該自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を合わせて設定し、少なくとも「少子化対策取組集中期間」(平成27年度～平成31年度)の中間年度である平成29年度終了時点及び最終年度の31年度終了時点で効果検証を行い、検証結果を子ども・子育て本部に報告するよう求めることとする。また、国としてのKPI及び定量的成果目標は、「目標を達成した申請元自治体の割合50%」とし、効果検証を行い、執行の改善を行うこととする。本交付金の申請元自治体には、地方創生の新型交付金を活用した少子化対策も合わせて行う場合は、本交付金による事業と新型交付金による事業が、重複するところがなく、かつ両者相まって当該自治体の総合的な少子化対策の推進につながることを、申請時に子ども・子育て本部に対して明らかにするよう求めると共に、子ども・子育て本部と新型交付金を所管する内閣府地方創生推進室との間で情報共有及び施策間の連携を図ることとする。	26年度1次補正予算3,008百万円	子ども・子育て本部	一般会計	(項) 共生社会政策費(大事項) 共生社会政策の企画立案等に必要経費	-	平成26年対象				○
施策名: 8.3 子どものための現金給付の推進(政策2.1-施策②)																									
施策名: 8.4 子どものための教育・保育給付の推進(政策2.1-施策③)																									
施策名: 8.5 地域における子ども・子育て支援対策の推進(政策2.1-施策④)																									
施策名: 8.6 国際平和協力業務等の推進(政策2.2-施策①)																									
0116	国際平和協力隊の派遣等経費	平成4年度	-	141	141	76		現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	122	120	▲2	-	現状通り	引き続き効率的な執行に努めるとともに、執行実績を踏まえ、概算要求を行った。		国際平和協力本部	一般会計	(項) 国際平和協力本部(大事項) 国際平和協力業務の実施等に必要経費	0107					
0117	国際平和協力のための人材育成経費	平成17年度	-	37	37	30		現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	47	46	▲1	-	現状通り	引き続き効率的な執行に努めるとともに、執行実績を踏まえ、概算要求を行った。		"	"	"	0108					
0118	人道救援物資備蓄経費	平成9年度	-	151	151	124	Bについては、入札に付する余地もあるかもしれない。特殊な事案ではあるが、Bとの関係では、一般の事業に近い側面もありそうであり、可能であれば、補充説明が望ましい。	現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	182	198	16	-	現状通り	Bについては、備考〇公開プロセスに対する点検・改善結果2、備蓄(保管・管理)のとおり。なお、平成28年度中に遅延の年期限終了後については、一般競争入札により次期競争入札を決定する予定である。引き続き効率的な執行に努めるとともに、執行実績を踏まえ、概算要求を行った。		"	"	"	0109	その他				
施策名: 8.7 科学に関する重要事項の審議及び研究の連絡(政策2.3-施策①)																									
0119	各国アカデミーとの交流等の国際的な活動	昭和23年度	-	188	188	179		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	222	213	▲10	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努める。	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」22百万円	日本学術会議	一般会計	(項) 日本学術会議(大事項) 科学に関する重要事項の審議等に必要経費	0110					
0120	科学の役割についての普及・啓発	昭和61年度	-	3	3	3		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	3	3	▲0	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努める。		"	"	"	0111					
0121	科学者間ネットワークの構築	昭和24年度	-	8	8	8		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	8	8	▲0	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努める。		"	"	"	0112	平成26年対象				
施策名: 8.8 民間人材活用等の推進(政策2.4-施策①)																									
0122	民間の再就職支援会社を活用した再就職支援経費	平成25年度	-	52	52	1		事業内容の一部改善	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	67	135	67	-	現状通り	公務員の総人件費抑制、年齢別構成の適正化を遂げた組織活力の維持等を図る早期退職者制度の円滑な運用に資する事業として一層の活用が見込まれ、再就職支援を希望する者に対し確実に支援を行う必要があることから一定程度の予算要求を行っているが、利用者数の状況等について確実な把握を図るなど、適切な予算の管理、執行に努めることとした。	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」135	官民人材交流センター	一般会計	(項) 官民人材交流センター(大事項) 官民人材交流センターの運営に必要経費	0145	平成26年対象			○	
いずれの施策にも関連しないもの																									
0123	社会保障・税番号制度に関する周知・広報に必要な経費	平成26年	-	204	204	87	ウェブサイトの周知を基本に据えているが、それで100%の認知度が得られるとは思われない。TV、新聞等で広告を打つ必要があり、予算は足りるのだろうか(26予算の残は繰越もしていない)。また、「認知度」を適切に検証する方法はあるのか。26年度執行額の大半をコールセンターに押し込んでいるが、コールセンター(=電話対応)に重要な役割を期待するのなら、「コールセンター」の存在の周知もまた必要となる。	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。また、外部有識者の指摘を踏まえ、効果的な事業の進め方について検討を行うこと。	470	705	234	234	執行等改善	外部有識者の所見である。TV、新聞等での広告については、平成27年度までは政府広報室のバックアップによって対応してきたが、平成28年度以降、政府広報室のバックアップは見込まれないことから、平成29年1月から開始されるマイナンバーやマイナンバーの利用手続などについて、TV、雑誌、WEBなどを活用して広報できるように、内閣官庁の当予算で確保し、実施してまいりたい。	大臣官房(番号制度担当)	一般会計	(項) 内閣府共通費(大事項) 内閣府一般行政に必要経費	新26-0012	前年度新規					
0124	拉致被害者等の支援に必要な経費	平成15年	-	35	35	9		現状通り	引き続き、未帰国家族分については、予備的計上となることから家族数等十分な検討を行い計上すべき。	327	337	10	-	現状通り	帰国拉致被害者の高齢化に対応し、新たな拉致被害者の帰国に向けた準備に連携がなきよう、拉致被害者給付金、老齢給付金をはじめとした各種給付金の支給や地方公共団体を通じて自立、社会適応促進事業の実施事務の委託を行う。	大臣官房	"	(項) 内閣府共通費(大事項) 拉致被害者等の支援に必要な経費	0113						
0125	消費税転嫁等対策に必要な経費	平成25年度	平成30年度	272	272	211		現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努め、また、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。	218	234	16	-	現状通り	本事業におけるこれまでの執行実績を踏まえた上で、消費税率の引上げを踏まえた相対数増加に対応すべく相対数強化を図るための要求を行うとともに、引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めることとする。	"	"	(項) 内閣府共通費(大事項) 消費税転嫁等対策に必要な経費	0114	平成26年対象					
0126	内閣本府庁舎等施設の整備に必要な経費	平成13年度	-	51	58	14		現状通り	引き続き、実用的・効率的な整備を行い、後年度の保全経費等の負担を考慮し、効果的な設備等の改修・整備に努めること。	161	291	130	-	現状通り	実用的・効率的な整備を行うため、中長期的な整備計画に基づき事業を行うこととした。	"	"	(項) 内閣府施設費(大事項) 内閣府施設整備に必要な経費	0117						
0127	独立行政法人国立公文書館運営費交付金に必要な経費	平成13年度	-	1,960	1,960	19,062		現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、併せてコスト削減に取り組むこと。	2,249	2,433	184	-	現状通り	平成28年度概算要求において、業務運営の効率化及びコスト削減に向け、館内のインターネット接続サービスの見直しを行い集約する構築経費等を計上した。また、効果的・効率的な業務の実施に向けて、今後も事業収入の拡充策の検討を行うとともに、引き続きコスト削減に向けた取り組みを実施していくこととする。	"	"	(項) 独立行政法人国立公文書館運営費(大事項) 独立行政法人国立公文書館運営費交付金に必要な経費	0118	平成25年対象			○		
0128	独立行政法人国立公文書館施設整備に必要な経費	平成22年度	-	36	36	35		現状通り	既存設備の耐用年数や老朽化の状況等を踏まえ、設備の優先順位等を調査し、効果的・効率的な整備の実施に努めるべき。	-	36	36	-	現状通り	適切な特定歴史公文書の保存管理に向け、設備の更新期を見定めつつ、今後も効果的・効率的な整備の実施に努めていくこととする。	"	"	(項) 独立行政法人国立公文書館施設整備(大事項) 独立行政法人国立公文書館施設整備に必要な経費	0119				○		
0129	経済財政政策運営の企画立案総合調整に必要な経費	平成13年	-	15	15	15		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	21	35	14	-	現状通り	所見を踏まえ、予算の効率的執行に留意する。また、適切かつ機動的な経済財政運営を行った。経済政策についてのPOCサイクルを確立させるための経費を新たに要求する。	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」1.09百万円	政策統括官(経済財政運営担当)	"	(項) 経済財政政策費(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要経費	0118					

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成26年度補正後予算額	平成26年度		外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		平成27年度当初予算額 A	平成28年度要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考	担当部署	会計区分	項・事項	平成26年レビューシート番号	外部有識者チェック対象(公開プロセス含む)※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金		
					執行可能額	執行額		評価結果	所見の概要				反映額	反映内容											
0130	国際経済会議等に必要な経費	平成13年	-	58	58	57	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	94	104	10	-	現状通り	ご指摘を踏まえ、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努めてまいります。				0119						
0131	雇用対策の総合的推進に必要な経費	平成20年	-	7	7	2	-	事業内容の一部改善	執行実績に見合う予算計上となっているかどうか検討すべき。	11	11	▲0	-	執行等改善	引き続き、刻々と変化する経済雇用情勢を迅速に把握し、必要かつ有効な雇用対策を機動的に講じることが重要であるとの認識の下、高度人材の受入れの推進を検討するための有識者からのヒアリングや地域の雇用の状況を把握するためのヒアリング、若年者雇用の実態等、経済雇用情勢を迅速に把握するための調査等を適切に実施することで、執行等改善を図ることとする。その際も不要な執行は厳に慎むものとする。				0120						
0132	若者の活躍の総合的推進に必要な経費	平成25年	-	6	6	4	-	終了予定	平成26年度限りの事業だが、「雇用対策の総合的推進に必要な経費」に統合後も、引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	-	-	-	-	予定通り終了	調査の目的を達するため、真に必要な技術仕様等を設定しており、こうした技術仕様等の要件に加え、供給者の都合等、諸般の事情より、結果的に2社応札になったものと考え。また、本件は、市場価格調査によって参考見積書を取得し、その金額を参考に構築されている適切な予定価格であると認識している。				0121	その他					
0133	実践キャリア・アップ戦略の実施に必要な経費	平成23年	平成26年	275	275	264	-	終了予定	民間団体による独立採算での実施に移行することを旨とした調整が完了したため、平成27年度以降は予算要求は行わない。	-	-	-	-	予定通り終了	-				0018	平成26年対象					
0134	中長期の経済運営に必要な経費	平成14年	-	40	40	38	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	37	84	47	-	現状通り	今後とも、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に努める。				0122			○			
0135	経済財政政策に関する有識者の見解調査・コンセンサス検討経費	平成24年	-	8	8	7	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	8	23	15	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意し、結果的に2社応札になったものとする。				0123	平成25年対象					
0136	経済財政政策の効果分析	平成12年	-	23	23	21	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	22	45	23	-	現状通り	今後とも、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努める。	新しい日本のための優先課題推進枠23百万円	政策統括官(経済財政分析担当)			0124					
0137	計量分析一般関連業務	平成12年	-	7	7	4	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	7	7	▲0	-	現状通り	今後とも、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努める。				0125			○			
0138	東日本大震災後の日本経済の産業構造・景気循環分析に必要な経費	平成24年	平成26年	8	8	5	-	終了予定	平成26年度限りの事業であるが、事業の成果については、今後も、適宜、活用していくことが適当。	-	-	-	-	予定通り終了	事業の成果について、引き続き、周知、活用を図っていく。				0126	平成26年対象					
0139	特定地域再生計画の推進に必要な経費	平成24年	平成26年	200	200	152	-	現状通り	平成26年度限りの事業だが、今後の関連施策の推進に資するよう、事業の有効性・効果について適切に検証すべき。	-	-	-	-	現状通り	平成26年度限りの経費である。		地方創生推進室		(項) 地域活性化政策費(大事項) 地域活性化政策の推進に必要な経費	0032	平成25年対象		○		
0140	地域活性化・効果実感臨時交付金に必要な経費	平成25年	平成26年	-	86,771	86,550	-	事業全体の体的改善	【評価結果】事業全体の体的改善【とりまとめコメント】補正予算という制約はあったものの、地方公共団体で優先順位の高い、経済効果の高い事業に活用されるためにも、効果測定のための適切な指標を考へるべき。	-	-	-	-	予定通り終了	今後同様の地域活性化交付金による事業を実施する際には、外部有識者の所見を踏まえ、地方公共団体において優先順位、経済効果の高い事業に活用されるよう指標の設定を検討する。	25年度1次補正予算87,000百万円			(項) 地域活性化推進費(大事項) 地域活性化・効果実感臨時交付金に必要な経費	0127	最終実施年度		○		
0141	科学技術・イノベーション政策に係る調査等	平成13年度	-	53	53	52	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	27	73	46	-	現状通り	予算の効率的な執行に留意しつつ、引き続き事業予算の執行管理を徹底し、効率的、効果的な事業の実施に努める。	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」48百万円	政策統括官(科学技術・イノベーション担当)		(項) 科学技術・イノベーション政策費(大事項) 科学技術・イノベーション政策の企画立案等に必要な経費	0128	平成26年対象		○		
0142	総合科学技術・イノベーション会議の主体的な国際活動	平成14年度	-	20	20	26	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	25	84	59	-	現状通り	予算の効率的な執行に留意しつつ、引き続き事業予算の執行管理を徹底し、効率的、効果的な事業の実施に努める。				0129	平成26年対象					
0143	科学技術関係予算の改革	平成18年度	-	5	5	3	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	4	4	▲0	-	現状通り	予算の効率的な執行に留意しつつ、引き続き事業予算の執行管理を徹底し、効率的、効果的な事業の実施に努める。				0130						
0144	科学技術システム改革の推進	平成18年度	-	15	15	5	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	13	9	▲4	▲4	現状通り	引き続き、各事業に対して適切な進捗管理を行い、効率的に予算を執行すると共に、28年度の概算要求にも反映していく。				0131						
0145	革新的研究開発の推進	平成22年度	-	20	20	17	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	13	11	▲1	-	現状通り	予算の効率的な執行に留意しつつ、引き続き事業予算の執行管理を徹底し、効率的、効果的な事業の実施に努める。				0132						
0146	科学技術イノベーション総合戦略の推進に必要な政策立案調査	平成26年度	-	45	45	39	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。なお、外部有識者の所見を踏まえ、外部委託の必要性に係る説明内容を拡充すべき。	41	37	▲4	▲4	現状通り	引き続き、各事業に対して適切な進捗管理を行い、効率的に予算を執行すると共に、28年度の概算要求にも反映していく。また「A,Bともに、文科省に照会することで、外部委託する事業内容を縮小できる可能性が高いのではないか」といったご指摘に照して、A,Bともに、調査対象機関が一部重複しているものその調査項目・内容は、異なっている。またAの調査対象のうち一部は、文科省からデータを入手し活用することにより、外部委託して調査する事業を絞り込んで効率的・効果的に実施している。28年度概算要求にあたっては、一層効率化等を図ることとしたため科学技術基礎調査委託費の要求額を見直した。		政策統括官(科学技術・イノベーション担当)		(項) 科学技術・イノベーション政策費(大事項) 総合科学技術政策の企画立案等に必要な経費	新26-0013	前年度新規				
0147	現地対策本部設置に係る施設の改修に要する経費	平成26年	-	119	7	5	-	現状通り	(予算を繰り越したことから本事業は来年も外部有識者の点検を依頼する予定の事業) 事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。また、外部有識者のコメントを踏まえ、改修の必要性や内容について、事業の評価を行うための情報について拡充すべき。	71	476	405	-	現状通り	所見を踏まえ、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努めたい。また、今後のレビューシート作成においては外部有識者の所見を踏まえ、評価に必要な情報を記載する。	26年度1次補正予算112,342百万円	政策統括官(防災担当)		(項) 内閣府施設費(大事項) 内閣府施設整備に必要な経費	新26-0014	前年度新規				
0148	災害対策本部予備施設の改修に要する経費	平成26年	-	26	5	1	-	現状通り	(予算を繰り越したことから本事業は来年も外部有識者の点検を依頼する予定の事業) 事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。また、外部有識者の所見を踏まえ、評価するための情報について拡充すべき。	28	-	▲28	-	現状通り	所見を踏まえ、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努めたい。また、今後のレビューシート作成においては外部有識者の所見を踏まえ、評価に必要な情報を記載する。				新26-0015	前年度新規					

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成26年度補正予算額	平成26年度		外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		平成27年度当初予算額 A	平成28年度要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考	担当部局	会計区分	項・事項	平成26年レビューシート番号	外部有識者チェック対象(公開プロセス含む) ※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金		
					執行可能額	執行額		評価結果	所見の概要				反映額	反映内容											
0149	中央防災無線網の施設整備及び管理に要する経費	平成12年	-	1,701	1,414	1,293	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	1,176	1,365	189	-	現状通り	行政レビュー推進チームの所見を踏まえ、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努めたい。	26年度1次補正予算399,226百万円要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」353百万円	〃	〃	(項) 防災政策費(大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要経費	0134					
0150	総合防災訓練大綱に基づく総合防災訓練に係る経費	平成26年	-	18	18	9		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。なお、外部有識者の所見を踏まえ、中期的な観点からの適正な予算の水準の検討や関連事業の整理を行うべき。	120	120	0	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意する。また、外部有識者の所見を踏まえ、中期的な観点からの適正な予算の水準の検討や関連事業の整理を行う。		〃	〃	〃	新26-0016	前年度新規				
0151	物資調達仕組構築に要する検討経費	平成26年	-	55	55	9		現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。なお、外部有識者の所見を踏まえ、本事業における調達の在り方について検討すべき。	-	-	-	-	現状通り	今後も事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努める。調達方法についても、随意契約も含めて検討し、より効率的な契約を行うこととした。	26年度1次補正予算44,767百万円	〃	〃	〃	新26-0017	前年度新規				
0152	住民と連携した地震・津波防災対策の強化に係る経費	平成25年	-	0	100	56		終了予定	本事業は平成26年度の執行をもって終了するが、外部有識者の所見を踏まえ、適正な活動指針の設定について検討を行い、関連事業について整理するなど、今後の防災訓練関連事業の改善に役立てること。	-	-	-	-	予定通り終了	平成26年度の執行をもって終了。外部有識者の所見を踏まえ、適正な活動指針の設定について検討を行い、関連事業について整理するなど、今後の防災訓練関連事業の改善に役立てること。		〃	〃	〃	0135	その他				
0153	定住外国人施策推進経費	平成21年度	-	9	9	6	-	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、効率的に執行した実績を概算要求に反映すること。	9	9	▲0	-	縮減	日系定住外国人施策の推進に係る会議等の開催内容の見直しを行い、概算要求額において約4%の削減を行った。今後も引き続き、効果的・効率的な執行を行うこととする。		政策統括官(共生社会政策担当)	〃	(項) 共生社会政策費(大事項) 共生社会政策の企画立案等に必要経費	0139	平成26年対象				
0154	食品安全確保総合調査費	平成15年度	-	66	66	66	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。なお、応札者の増加への対応について検討し、一層の競争性の確保に努めること。	66	77	11	-	執行等改善	平成22年12月16日に策定した概算5年間で必要な調査・研究についての目標や進捗等となる「食品の安全性のための調査・研究の推進の方向性について」に基づき計画性・戦略性を踏まえて事業を実施してきており、また、競争性を確保するための総合評価方式としており、公示期間を4週間程度設け、さらに公告後速やかに食品安全委員メールマガジンやSNSを活用して幅広い事業内容を周知しているところである。今後は、産地の応札業者で現在応札がない業者への聞き取りにより課題を抽出するほか、他府庁の1着応札に対する対応策も参考にしながら、応札者を増やし、より一層の競争性を確保するための対応を検討する。さらに、最新の科学的知見や国際動向等を踏まえつつ、調査結果についてリスク評価への一層の活用、国民への分かりやすさの点も考慮し、平成20年度末に「食品の安全性のための調査・研究の推進の方向性について」を改訂したところであり、さらに効果的かつ効果的な調査の実施を加速化していくこととしている。	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」18百万円	食品安全委員会	〃	(項) 食品安全政策費(大事項) 食品安全の確保に必要な経費	0139					
0155	食品安全行政の充実・強化経費	平成15年度	-	43	43	40	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。	43	51	8	-	現状通り	国際会議等への委員出席及び通訳、外国の参考文献の翻訳等の支出については、一般競争入札や3社以上から見積もりを取るなどの競争性の確保、出張の計画的な実施などの事業の適切な進捗管理を行い、引き続き予算の効率的な執行に努めていく。	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」9百万円	〃	〃	〃	0140					
0156	迎賓館施設整備に必要な経費	昭和54年度	-	141	141	80	-	現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、国費等の接遇に支障が生じないように施設整備計画に基づいた概算要求を行うこと。	139	582	443	-	現状通り	事業内容を適切に検証し、予算の効率的執行に努め、国費等の接遇に支障が生じないように施設整備計画に基づいた概算要求を行った。	要望額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」276	迎賓館	〃	(項) 内閣本府施設費(大事項) 内閣本府施設整備に必要な経費	0141	平成26年対象				
0157	北方地域旧漁業権者等貸付事業	昭和36年度	-	156	156	156	-	現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	178	144	▲33	-	現状通り	引き続き、適正な予算の執行、事業成果の検証に努める。		北方対策本部	〃	(項) 北方対策本部(大事項) 北方領土問題対策に必要な経費	0142					
0158	独立行政法人北方領土問題対策協会運営費交付金	平成15年度	-	1,215	1,215	1,215		現状通り	Hについては、入札に付すことが可能であるが、大部分が随発で処理されている。その必要性があったのか、補充説明が望まれる。	1,210	1,482	273	-	現状通り	協会は随発契約の条件(少額や公募等)を国に準じて会計規程等で定めており、対象案件がその条件に該当するため、随発契約を行った。引き続き、適正な予算の執行、事業成果の検証に努める。	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」362	〃	〃	(項) 独立行政法人北方領土問題対策協会運営費(大事項) 独立行政法人北方領土問題対策協会運営費交付金に必要な経費	0143	その他				

